

カラコギカエデ *Acer aidzuense* (French.) Nakai の果実における分果数の異常個体

著者	須山 知香, 吉川 博章
著者別表示	Suyama Chika, Yoshikawa Hiroaki
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	46
号	1
ページ	119-120
発行年	1998-06-30
URL	http://doi.org/10.24517/00055429



○ 須山知香・吉川博章：カラコギカエデ *Acer aidzuense* (Franch.) Nakai の果実における分果数の異常個体 Chika Suyama and Hiroaki Yoshikawa: Extra Mericarps of *Acer aidzuense* (Franch.) Nakai

カラコギカエデ *Acer aidzuense* (Franch.) Nakai は北海道から九州までの湿地や水辺に生育する小高木である。通常カエデ属の子房は2室2裂し、各室には胚珠が2個存在する(大井 1983; 北村 1959)。しかし、3-4室からなる子房もまれに知られている(清水 1989)。

1995年、筆者のひとりである吉川は長野県東筑摩郡生坂村で3分果の果実を多数つけているカラコギカエデを見つけた。この株は1996年は結実が見られなかった。1996年には長野県内の他の場所においてもカラコギカエデはほとんど、もしくは全く果実をつけていなかった。1997年には多数の果実が実り、前述の株は数多くの3分果をつけた。この株の果実のほか、比較のために同産地の他の株、他産地におけるカラコギカエデの果実の分果数を調べた(Table 1)。その結果、2分果の果実だけをつける株から、3分果が果実の7割以上を占める株まで、3分果の果実をつける割合は、株によって変異していた。なお、3分果の果実をつける

割合のもっとも高かった株(個体番号1)では、4分果の果実をわずかに確認した(Fig. 1)。

現在のカエデ科植物は2分果の果実をつけるものが普通であるが、その祖先とされる植物に3分果の果実をつけるものが知られている。Wolfe and Tanai (1987)は第三紀暁新世以降のカエデ科化石と現生種を詳細に比較し、系統関係を論じた。それによれば、現在のカエデ科はムクロジ科に属する化石植物ボレニア属(*Bohlenia*)から進化したとされている。カエデ科はカエデ属とキンセンカエデ属に分けられるが、ボレニア属はキンセンカエデ属に形態が類似し、子房は3室、3分果の果実をつけるという特徴を持つ。

カラコギカエデに2分果のほか、3分果の果実を数多くつける株が存在するという今回の観察結果は、3分果の果実をつける植物がカエデ科の祖先とされている点で興味深い。

測定には液浸標本(TMNH-B 000987-000993)

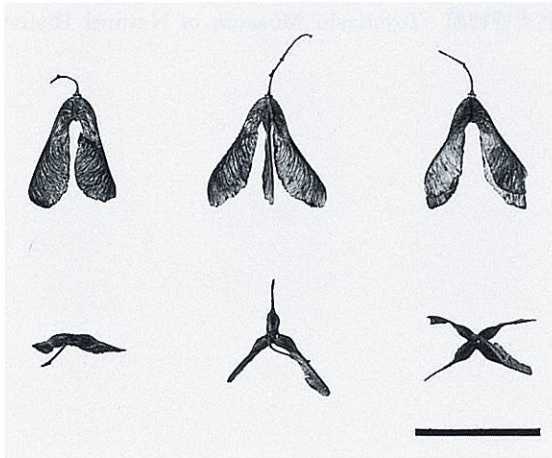


Fig. 1. Fruits with 2-4 mericarps of *Acer aidzuense* (TMNH-B 000987). Bar: 3 cm.

Table 1. Collected sites and numbers of mericarps per fruit

採集地	個体番号	果実数				豊橋市自然史博物館 標本登録番号
		2分果	3分果	4分果	総数	
長野県東筑摩郡生坂村裏日岐	1	8 (15.4)	44 (84.6)	0 (0.0)	52 (100.0)	TMNH-B 000299
		93 (28.0)	231 (69.6)	8 (2.4)	332 (100.0)	TMNH-B 000987
	2	152 (97.4)	4 (2.6)	0 (0.0)	156 (100.0)	TMNH-B 000988
	3	90 (75.0)	30 (25.0)	0 (0.0)	110 (100.0)	TMNH-B 000989
長野県北安曇郡八坂村唐花見	4	139 (99.3)	1 (0.7)	0 (0.0)	140 (100.0)	TMNH-B 000990
	5	385 (99.2)	3 (0.8)	0 (0.0)	388 (100.0)	TMNH-B 000991
長野県北安曇郡白馬村佐野	6	166 (94.9)	9 (5.1)	0 (0.0)	175 (100.0)	TMNH-B 000992
長野県上水内郡鬼無里村大洞	7	176 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)	TMNH-B 000993

(): Percentage to total number. TMNH-B: Registration number of Herbarium Toyohashi Museum of Natural History. Collected dates: TMNH-B 000299 Aug. 5, 1995; TMNH-B 000987-000993 Aug. 24-25, 1997.

と一部腊葉標本 (TMNH-B 000299) を使用した。全ての個体からは証拠標本として、腊葉標本 (TMNH-B 000299, 000994-001000) を作成した。これらの標本は、豊橋市自然史博物館に保管した。

本報告をまとめるにあたって、有益なご助言をいただきました棚井敏雅北海道大学名誉教授、鳴橋直弘富山大学理学部教授、清水建美金沢大学名誉教授にお礼申し上げます。

引用文献

北村四郎・岡本省吾. 1959. 原色日本樹木図鑑. pp. 136-141. 保育社, 大阪.

大井次三郎. 1983. 新日本植物誌 顕花編. pp. 974-982. 至文堂, 東京.

清水建美. 1989. カエデ科. 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫編: 日本の野生植物木本Ⅱ, pp. 7-18. 平凡社, 東京.

Wolfe, J. A. and Tanai, T. 1987. Systematics, Phylogeny, and Distribution of *Acer* (Maples) in the Cenozoic of Western North America. J. Fac. Sci., Hokkaido Univ. **22**: 1-246.

(〒441-3147 豊橋市大岩町字大穴 1-238 豊橋市自然史博物館 Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan)